令和5年度 広域周遊観光促進のための専門家派遣事業 派遣事例

国土交通省 観光庁

要請団体： **一般社団法人四国ツーリズム創造機構**

マネジメントエリア

徳島県、香川県、愛媛県、高知県

助言を求めた課題

調査・戦略策定 ＞
⑥観光戦略策定

中山千枚田（小豆島町）

専門家が行った助言

地元の事業者の声をヒアリングした上で、自治体・DMOと情報交換会を行い、**持続可能な観光と親和性が高い地域の資源を共に整理**する。また、GSTC認証に取り組んだ結果、**地域の課題解決にもたらす波及効果を共に確認**する。例えば、地元の漁師から海産物の地産地消が不十分であるという声があった場合、この課題については、商店街や道の駅内の「産直館」の活用が検討できる。

助言を求めた背景や理由

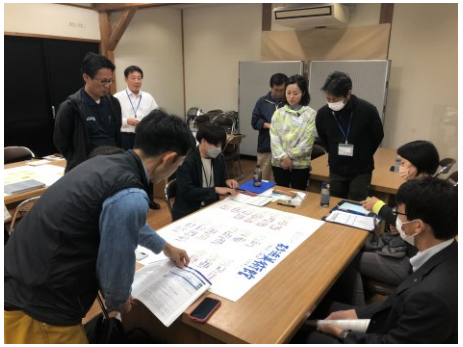
四国ツーリズム創造機構は、四国４県を管轄する広域連携DMO。**持続可能な観光に積極的に取り組んでいる**。
マネジメントする自治体やDMOも、持続可能な観光への関心はあるが、国際認証の取得等、具体的な取り組み方法をあまり分かっていない。四国一体で取り組むにあたり、**どのように地域にノウハウを伝え、認証を活用していけばよいか**について助言を得たい。

助言後の取組や方向性

四国一体となって持続可能な観光を推進していけるよう、自治体やDMOとともに取り組んでいく。
具体的には、各地域の取り組みや体験コンテンツのHP（日・英）での発信や、コンテンツを組み合わせたモデルコースの作成を行う。
また、国際認証制度にエントリーを希望する自治体やDMOの事務作業等を支援する。

助言した専門家

荒井 一洋
NPO法人大雪山自然学校　代表理事
大雪山自然学校代表、北海道アドベンチャートラベル協議会会長、GSTC公認トレーナー。エコツーリズム、子供自然体験活動、大雪山国立公園・旭岳エリアの環境保全活動を実施。観光は「持続可能な地域づくりの手法」と捉え、その実践と普及に努めている。



助言を受けている様子

令和5年度 広域周遊観光促進のための専門家派遣事業 派遣事例

国土交通省 観光庁

要請団体： **小海**（こうみ）**町**

マネジメントエリア

長野県小海町

助言を求めた課題

受入環境整備 ＞
⑩観光施設運営

松原湖と八ヶ岳

専門家が行った助言

まずは**国内近隣からの来訪者を増やすべき**。
受け入れ増加のため、例えば氷上アクティビティでは、ワカサギ釣り以外にも幅広い年代が楽しめるものを開発する。
インバウンドについて、まずは**日本にある程度慣れているリピーターをターゲットとし、WEBでの情報発信を整備**するべき。**来訪が増えてから、町内の多言語化ツールの整備を行う**べき。

助言を求めた背景や理由

小海町は、長野県の東部、北八ヶ岳の麓に位置する町。
「松原湖」をはじめとした四季折々の美しい風景が点在し、様々なレジャーも盛ん。小海町では、都市部の企業向けにヘルスツーリズムを展開してきた。今後の事業拡大を見据え、国内の個人や**インバウンドの受け入れも進めたいが、多言語化ツールなどの受け入れ態勢の整備が不十分であるため、助言を得たい**。

助言後の取組や方向性

まずは、**県内からの来訪者を増やす仕組みづくりを行う**。
具体的には、企業向けプログラムを一般向けに整備する。
現在は受け入れできる人数が限られるため、イベントによる一時的な来訪者増加ではなく、満足度を高めてリピーターの増加を目指す。
また、**海外向けサイトを含め、SNSやWEBにこの景色を見たいと思わせる写真を投稿**し、来訪者を増やすきっかけとする。

助言した専門家

萬歳 昂大
株式会社ジーリーメディアグループ営業部営業部長
繁体字圏向け訪日観光情報WEBメディア「ラーチーゴー！日本」の営業責任者として、日本全国100を越える企業、自治体、観光協会、の誘客プロモーションを支援した実績がある。

助言を受けている様子

満足度が高いセラピーウォーク

令和5年度 広域周遊観光促進のための専門家派遣事業 派遣事例

国土交通省 観光庁

要請団体： **南島原市**

マネジメントエリア

長崎県南島原市

助言を求めた課題

滞在コンテンツの充実 ＞
⑭滞在コンテンツ造成

体験民泊の様子

専門家が行った助言

棚田での食事体験や廃校舎を利用した農業ワークショップなど、**豊富な既存資源・施設を活用した体験商品を増やす**べき。
これらの体験を**OTAに掲載することで、一般客の誘客**が可能となる。
また、民泊の新たなターゲットとしては、企業のインセンティブ旅行などもある。海外からの誘客については、まず多言語対応したWEBページにて、**動画で魅力を発信**する。

助言を求めた背景や理由

南島原市は、長崎県の島原半島南部に位置する市。世界文化遺産の「原城跡」や豊かな自然を有し、農林漁業が盛ん。
修学旅行生へ向けた**「農林漁業体験民泊」に取り組んできたが、コロナウイルスの影響で受け入れ数が大幅に減少**した。
今後、一般客も含めて民泊の利用を拡大したいため、**市内観光資源の磨き上げやプロモーション強化の手法**について助言を得たい。

助言後の取組や方向性

インバウンドを含めた一般向けの農林漁業体験民泊の申込者を、**令和６年度に1.5倍増**となることを目指す。
そのために、ファムトリップを実施して、まず一般客向けの改善を図り、市内の**既存の観光資源を活かした体験商品を拡充**する。
また、一般客がアクセスしにくいスポットは、特別な体験としてラグジュアリー層をターゲットに商品化を検討していく。

助言した専門家

井手 基之
株式会社九州ごころ　代表取締役社長
大手旅行代理店のマネージャーの経験から、各地の体験をOTA等で販売する支援など販路拡大に多数の実績がある。また、多くの海外の旅行会社とのネットワークにより、地域の観光資源の磨き上げからその地域に実際に誘客するまでを実現してきた。

助言を受けている様子